



トリプルプレートジョイント

T・P JOINT

三谷セキサン株式会社

- **本社**
〒910-8571 福井県福井市豊島1丁目3-1(三谷ビル)
TEL(0776)20-3333 FAX(0776)20-3306
- **東京本社**
〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番6号(柳橋ファーストビル9階)
TEL(03)5821-1120 FAX(03)5821-1121
- **北陸支社・福井営業所**
〒910-8571 福井県福井市豊島1丁目3-1(三谷ビル)
TEL(0776)20-3360 FAX(0776)20-3355
- **敦賀出張所**
〒914-0076 福井県敦賀市元町5-7(三谷商事(株)内)
TEL(0770)25-2163 FAX(0770)25-2464
- **金沢営業所**
〒920-0342 石川県金沢市畷田西2丁目25番地
TEL(076)268-1225 FAX(076)268-1228
- **富山営業所**
〒930-0008 富山県富山市神通本町1-1-19(いちご富山駅西ビル1階)
TEL(076)433-1191 FAX(076)433-1197
- **七尾営業所**
〒926-0012 石川県七尾市万行町5の129
TEL(0767)53-1204 FAX(0767)53-2529
- **新潟営業所**
〒950-0917 新潟県新潟市中央区天神2丁目2-7(ベルトピア新潟10 2階)
TEL(025)241-9110 FAX(025)241-9120
- **関東支社・東京支店**
〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番6号(柳橋ファーストビル9階)
TEL(03)5821-1122 FAX(03)5821-1123
- **千葉営業所**
〒260-0027 千葉県千葉市中央区新田町7-5(石出ビル)
TEL(043)242-8778 FAX(043)242-5108
- **埼玉営業所**
〒336-0031 埼玉県さいたま市南区鹿手袋1-1-1(プラザホテル内)
TEL(048)866-7300 FAX(048)866-1706
- **横浜営業所**
〒221-0823 神奈川県横浜市神奈川区二ツ谷町9-1(村井ビル4階)
TEL(045)317-2033 FAX(045)317-2105
- **茨城営業所**
〒310-0062 茨城県水戸市大町3丁目1-26(岡崎ビル)
TEL(029)221-7768 FAX(029)221-7749
- **札幌支店**
〒060-0051 北海道札幌市中央区南一条東1丁目3番地(パークイースト札幌8階)
TEL(011)206-7771 FAX(011)206-7773
- **東北支店・仙台営業所**
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-15-24(宮城林産上杉ビル4階)
TEL(022)216-3450 FAX(022)266-4789
- **福島営業所**
〒963-8877 福島県郡山市堂前町6-4(郡山堂前合同ビル ANNEX3階)
TEL(024)954-8171 FAX(024)954-8172
- **関西支社・大阪支店**
〒540-0031 大阪府中央区北浜東1番22号(北浜東野村ビル5階)
TEL(06)6920-6611 FAX(06)6920-6622
- **京滋営業所**
〒600-8028 京都市下京区寺町通松原下植松町733番地(河原町NNビル 3階)
TEL(075)365-0881 FAX(075)365-0882
- **名古屋支店**
〒460-0003 名古屋市中区錦1-7-26(錦Mビル6階)
TEL(052)232-1936 FAX(052)232-1935
- **静岡営業所**
〒420-0858 静岡県静岡市葵区伝馬町9-10(NTビル4階)
TEL(054)273-1036 FAX(054)273-0988
- **四国支店**
〒761-8003 香川県高松市神在川窪町113
TEL(087)881-2141 FAX(087)881-2177
- **愛媛営業所**
〒790-0003 愛媛県松山市三番町4-7-7(愛媛汽船松山ビル4階B号室)
TEL(089)986-3921 FAX(089)986-3926
- **広島支店**
〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2(あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル8階)
TEL(082)242-3307 FAX(082)242-3308
- **岡山営業所**
〒719-1145 岡山県総社市下原1228番地
TEL(0866)93-7800 FAX(0866)93-7887
- **九州支店**
〒812-0036 福岡市博多区上呉服町11番16号(SHO-Bi Corporation 福岡ビル3階)
TEL(092)271-8411 FAX(092)272-0068
- **佐賀営業所**
〒840-0813 佐賀県佐賀市唐人2丁目5-8(佐賀中央通ビル5階)
TEL(0952)22-8541 FAX(0952)22-8547
- **熊本営業所**
〒860-0811 熊本県熊本市中央区本荘6丁目7番10号
TEL(096)283-1191 FAX(096)283-7444
- **鹿児島営業所**
〒892-0846 鹿児島県鹿児島市加治屋町18番8号(三井生命ビル)
TEL(099)226-7297 FAX(099)222-3413
- **沖縄事務所**
〒900-0006 那覇市おもろまち4丁目10番6号(アメニティーステイ502)
TEL(098)863-1201 FAX(098)863-1206

T・P JOINT

トリプルプレート ジョイント

接続プレート・嵌合方式無溶接継手
(BCJ評定-FD0183-06)
既製コンクリート杭(PHC、PRC、SC等)
φ300mm～φ1,200mm

杭径等仕様の詳細については、当社にお問合せください。

杭径等仕様の詳細については、当社にお問合せください。

※カタログの掲載内容及び仕様は、予告なく変更することがあります。 本内容・仕様は平成28年10月現在のものです。

MS.16.10J0000-j1

 三谷セキサン株式会社

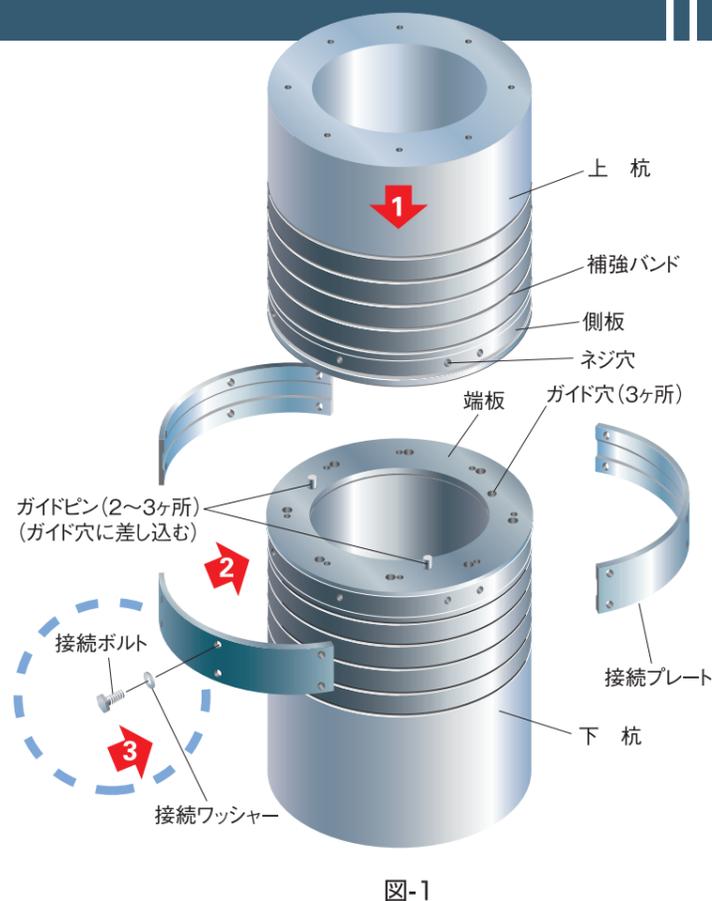
T・P JOINTが誇る、確実、強靱、簡便な優れた機能。

■ T・P JOINTの概要

T・P JOINTは、図-1のように、端板、側板、補強バンド、接続プレートおよび接続ボルトから構成されています。杭本体の継手金具は、端板、側板、補強バンドからなり、側板に接続プレートのボルト孔に対応したネジ穴が切られています。端板には、下杭に上杭を合わせた時に、接続プレートの形状に嵌合する凸形の突起が形成される形となっています。接続プレートは、端板の突起と嵌合する凹形となっており、側板のネジ穴に接続ボルトを取り付けることにより凹凸を嵌合し(図-2参照)、この嵌合部により杭に作用する応力を伝達します。尚、接続ボルトは、杭に引張力が作用した時の接続プレートの離脱防止の役目をしております。

■ T・P JOINTの特長

- 1 溶接継手と同等の性能を有している。
- 2 気象条件(風、雨、気温等)の影響を受けにくく、安定した施工ができる。
- 3 火気厳禁の場所でも安全に施工ができる。
- 4 溶接継手に比較して施工時間が短い。
- 5 接続プレートを3分割し、軽量化を図っているため、取扱いが容易である。
- 6 接続ボルトの締付けはトルクレンチを使用し、特殊な工具及び特殊な技能者を必要とせず、施工管理が容易である。
- 7 接続プレートの杭本体からの突き出しが小さいので杭周面摩擦力への影響が少ない。
- 8 全ての部品は、工場製品を使用するので、品質の信頼性が高い。



■ T・P JOINTの概要図

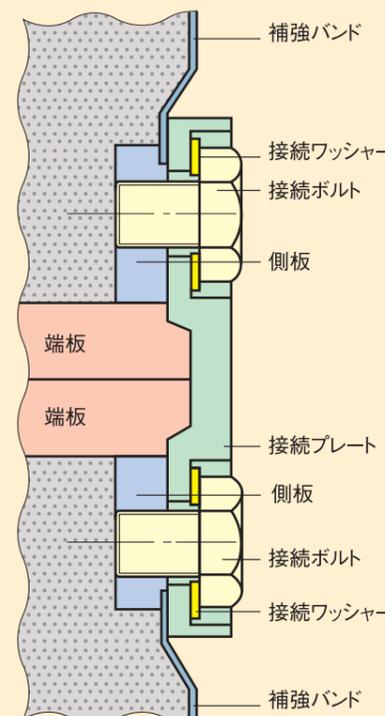


図-2

T・PJOINTは下杭と上杭により形成されたテーパ状の突起に、接続プレートのテーパ状の溝を接続ボルトで取り付けることにより嵌合し、杭を接続する形状になっています。

■ T・P JOINTの適用条件

適用範囲(BCJ評定-FD0183-06)

- 1 杭 径
300~1200mm
- 2 杭 種
 - ① 遠心力鉄筋コンクリート杭
 - ② 振動詰め鉄筋コンクリート杭
 - ③ 外殻鋼管付きコンクリート杭
 - ④ プレストレストコンクリート杭
 - ⑤ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭
またはこれに類する杭

上記①~⑤は、平成13年国土交通省告示第1113号第8第1項第六号により許容応力度を定めた杭を含む
- 3 杭の使用条件
継手の性能は、杭に作用する軸力の範囲内において、杭本体の性能を上回っていること。
なお、継手の性能が一部の軸力の範囲で杭本体の性能を下回る場合でも、継手の曲げ耐力とせん断耐力が、継手部分に作用する曲げモーメントとせん断力を上回ることを確かめた場合には使用できる。
- 4 適用工法
打込み杭工法(杭径300~600mm)
埋込み杭工法(杭径300~1200mm)
- 5 継手の性能
許容圧縮軸方向力の低減率は、0%とする。短期許容引張耐力は、杭体の短期許容引張耐力に「有効率」を乗じた値とする。
※「有効率」はお問い合わせください。

●継手部の曲げ試験(φ1200)



●施工試験(φ1200)



■ T・P JOINTの評定について(BCJ評定-FD0183-06)

T・P JOINTは平成9年10月22日付で(一財)日本建築センターの評定を取得、平成9年12月18日付で旧建設大臣認定を取得して以来、数多くの現場で採用され、実績を積み重ねてまいりました。

今回、T・P JOINTは、新たに平成26年1月30日付で(一財)日本建築センターの評定を取得いたしました。

施工管理が明確で能率的。

■ 施工準備

無溶接継手杭の施工にあたって、下記の材料および機材、工具を準備します。

● 使用材料および機材

	名称	数量	仕様等の確認事項
1	接続プレート	3枚×継手数	対応杭径、継手TYPE
2	接続ボルト	杭径と継手TYPEによる必要数	ねじの呼び、長さ、強度区分
3	接続ワッシャー	同上	呼び径、外径、厚さ
4	ガイドピン	2~3個×継手数	上・下杭位置合わせ用

● 使用工具等

	名称	数量	備考
1	トルクレンチ	1~6丁	規定トルク締め付け用 JIS B 4652(手動式トルクレンチ)による プレセット形とする。
2	トルクレンチ用ソケット	各1~6個	M12用、M14用及びM16用
3	ラチェットレンチ	各1~3丁	仮締め用(M12用、M14及びM16用)
4	六角レンチ	各1~3丁	埋込ボルト取りはずし用
5	ワイヤーブラシ等	1~3個	杭端面、嵌合部及びねじの掃除用

※現場状況に応じて保護シュー、保護キャップを使用する事があります。

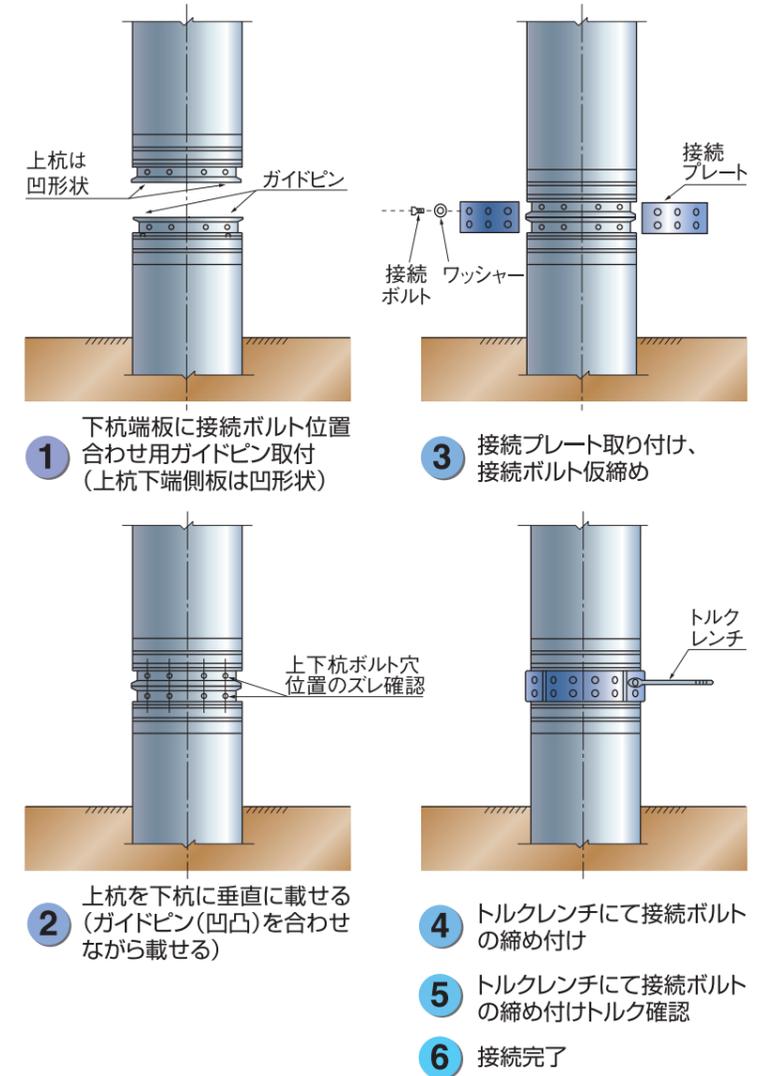
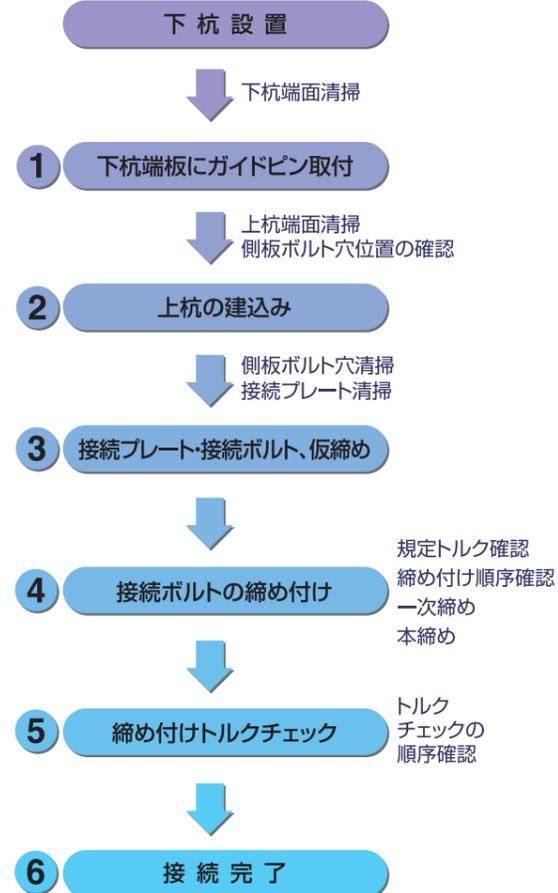


保護シュー



保護キャップ

■ 施工



● 一次締め完了



一次締め完了後、ボルト頭部からプレートにかけて一本線でマーキングする。

● 本締め完了



本締め完了後、ボルト頭部とプレートのマーキングのズレを確認する。

● トルクチェック完了



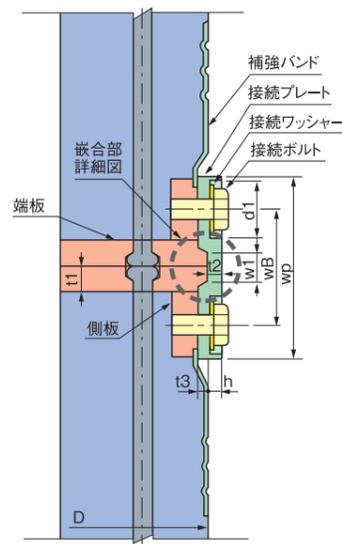
トルクチェック完了後、プレートにマーキングする。

標準構造図及び標準寸法表

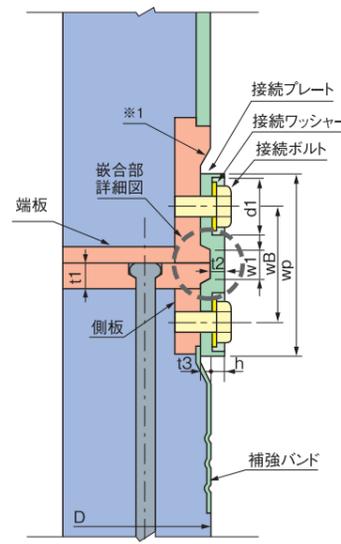
標準構造図 [PHC杭、CPRC杭、PRC杭仕様]

TYPE I

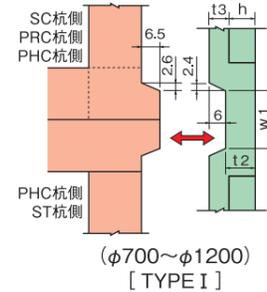
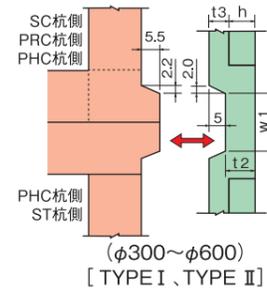
PHC杭+PHC杭の例



PHC杭+SC杭の例

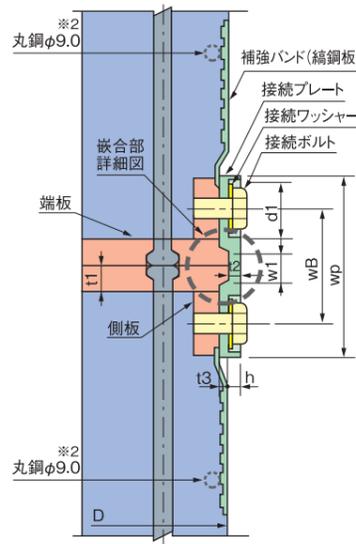


嵌合部詳細図

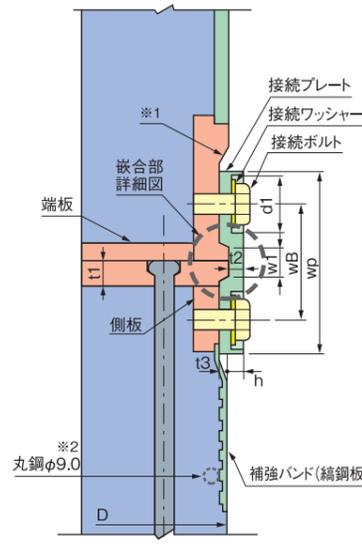


TYPE II / TYPE III

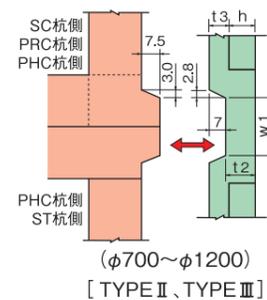
PHC杭+PHC杭の例



PHC杭+SC杭の例



嵌合部詳細図



※1 異なる杭種を接続する場合の継手は、耐力の小さい杭の性能とする。従って鋼管材質が490材のSC杭においても、側板材質が400材の場合がある。

※2 φ700~φ1200のPHC杭のC種同士、またはC種と同等以上の杭を接続する場合に設置。

PHC杭(肉厚仕様:標準型、厚型)標準仕様

杭径 (継手部) D (mm)	種類	継手 種類 (呼び名)	側板 材質	接 続 プレート 材 質	形 状	端板 厚さ t1 (mm)	接続ボルト			接続プレート					接続 ボルト 間隔 wB (mm)		
							呼び	本数 n (本)	長さ ℓ (mm)	嵌合部		座ぐり部					
										厚さ t2 (mm)	幅 w1 (mm)	深さ h (mm)	厚さ t3 (mm)	径 d1 (mm)		幅 wp (mm)	
300	A	4049-I	400材	490材	TYPE I	12以上	M12	12	25	9	18	7	7	32	110	65	
	B	4049-I	400材	490材		16以上											
	C	4049-I	400材	490材		16以上											
350	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	12以上	M12	12	25	9	18	7	7	32	110	65	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											16以上
	C	4049-II	400材	490材													16以上
400	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	12以上	M12	12	25	9	18	7	7	32	110	65	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											16以上
	C	4049-II	400材	490材													16以上
450	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	16以上	M14	12	30	9	18	6	8	35	110	70	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											16以上
	C	4049-II	400材	490材													16以上
500	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	16以上	M14	12	30	9	18	6	8	35	110	70	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											16以上
	C	4049-II	400材	490材													16以上
600	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	16以上	M14	18	30	9	18	6	8	35	110	70	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											16以上
	C	4049-II	400材	490材													16以上
700	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	19以上	M14	18	30	10	28	8	8	35	110	70	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											19以上
	C	4049-II R	400材	490材													22以上
800	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	19以上	M14	24	30	10	28	8	8	35	110	70	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											19以上
	C	4049-II R	400材	490材													22以上
900	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	19以上	M14	24	30	10	28	8	8	35	110	70	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											19以上
	C	4049-III R	400材	490材													TYPE III
1000	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	19以上	M14	30	30	10	28	8	8	35	110	70	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											19以上
	C	4049-III R	400材	490材													TYPE III
1100	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	22以上	M14	36	30	10	28	8	8	35	110	70	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											26以上
	C	4049-III R	400材	490材													TYPE III
1200	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	22以上	M14	42	30	10	28	8	8	35	110	70	
	B	4049-II	400材	490材		TYPE II											26以上
	C	4049-III R	400材	490材													TYPE III

注1：継手の性能は、杭に作用する軸力の範囲内において、杭本体の性能を上回っていること。

注2：ボルト数は、継手1ヶ所あたり(上下の杭)の合計です。

注3：異なる杭種を接続する場合の継手は、曲げ耐力およびせん断耐力の小さい杭の仕様とします。

注4：継手種類(呼び名)のTYPEに「R」がついているものは、補強バンドに丸鋼を設置することを示します。

T・P JOINTの呼び名
(PHC杭の例)

4049 - I
① ② ③

- ① 側板材質が400材
- ② プレート材質が490材
- ③ 接続ボルトの種類(呼び径と本数)の違いによる記号

標準構造図及び標準寸法表

■ PHC杭(肉厚仕様・特厚型)標準仕様

杭径 (継手部) D (mm)	種類	継手 種類 (呼び名)	側板 材質	接 続 プ レ ー ト 材 質	形 状	端板 厚さ t1 (mm)	接続ボルト			接続プレート					接続 ボルト 間 隔 wB (mm)	
							呼び	本数 n (本)	長さ ℓ (mm)	嵌合部		座ぐり部				幅 wp (mm)
										厚さ t2 (mm)	幅 w1 (mm)	深さ h (mm)	厚さ t3 (mm)	径 d1 (mm)		
400	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	16以上	M12	12	25	9	18	7	7	32	110	65
	B	4049-II	400材	490材	TYPE II	16以上	M12	18	25	9	18	7	7	32	110	65
	C	4949-II	490材	490材		22以上										
450	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	16以上	M14	12	30	9	18	6	8	35	110	70
	B	4049-II	400材	490材	TYPE II	16以上	M14	18	30	12	26	9	8	35	110	70
	C	4949-II	490材	490材		22以上										
500	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	16以上	M14	12	30	9	18	6	8	35	110	70
	B	4049-II	400材	490材	TYPE II	16以上	M14	18	30	12	26	9	8	35	110	70
	C	4949-II	490材	490材		22以上										
600	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	16以上	M14	18	30	9	18	6	8	35	110	70
	B	4049-II	400材	490材	TYPE II	16以上	M14	24	30	12	26	9	8	35	110	70
	C	4949-II	490材	490材		22以上										
700	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	19以上	M14	18	30	10	28	8	8	35	110	70
	B	4049-II	400材	490材	TYPE II	22以上	M16	24	35	15	32	11	11	40	135	90
	C	4949-II R	490材	490材		26以上										
800	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	19以上	M14	24	30	10	28	8	8	35	110	70
	B	4049-II	400材	490材	TYPE II	22以上	M16	30	35	15	32	11	11	40	135	90
	C	4949-II R	490材	490材		22以上										
900	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	19以上	M14	24	30	10	28	8	8	35	110	70
	B	4049-II	400材	490材	TYPE II	22以上	M16	30	35	15	32	11	11	40	135	90
	C	4949-III R	490材	490材	TYPE III	26以上	M16	36	35	15	32	11	11	40	135	90
1000	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	19以上	M14	30	30	10	28	8	8	35	110	70
	B	4049-II	400材	490材	TYPE II	22以上	M16	36	35	15	32	11	11	40	135	90
	C	4949-III R	490材	490材	TYPE III	26以上	M16	42	35	15	32	11	11	40	135	90
1100	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	22以上	M14	36	30	10	28	8	8	35	110	70
	B	4049-III	400材	490材	TYPE III	26以上	M16	54	35	15	32	11	11	40	135	90
1200	A	4040-I	400材	400材	TYPE I	22以上	M14	42	30	10	28	8	8	35	110	70
	B	4049-III	400材	490材	TYPE III	26以上	M16	60	35	15	32	11	11	40	135	90

注1：継手の性能は、杭に作用する軸力の範囲内において、杭本体の性能を上回っていること。
 注2：ボルト数は、継手1ヶ所あたり(上下の杭)の合計です。
 注3：異なる杭種を接続する場合の継手は、曲げ耐力およびせん断耐力の小さい杭の仕様とします。
 注4：継手種類(呼び名)のTYPEに「R」がついているものは、補強バンドに丸鋼を設置することを示します。

■ CPRC杭標準仕様 協会仕様杭

杭径 (継手部) D (mm)	継手 種類 (呼び名)	側板 材質	接 続 プ レ ー ト 材 質	形 状	端板 厚さ t1 (mm)	接続ボルト			接続プレート					接続 ボルト 間 隔 wB (mm)	
						呼び	本数 n (本)	長さ ℓ (mm)	嵌合部		座ぐり部				幅 wp (mm)
									厚さ t2 (mm)	幅 w1 (mm)	深さ h (mm)	厚さ t3 (mm)	径 d1 (mm)		
300	4949-I	490材	490材	TYPE I	16以上	M12	12	25	9	18	7	7	32	110	65
350	4949-II	490材	490材	TYPE II	16以上	M12	18	25	9	18	7	7	32	110	65
400	4949-II	490材	490材	TYPE II	16以上	M12	18	25	9	18	7	7	32	110	65
450	4949-II	490材	490材	TYPE II	19以上	M14	18	30	12	26	9	8	35	110	70
500	4949-II	490材	490材	TYPE II	19以上	M14	18	30	12	26	9	8	35	110	70
600	4949-II	490材	490材	TYPE II	19以上	M14	24	30	12	26	9	8	35	110	70
700	4949-II R	490材	490材	TYPE II	19以上	M16	24	35	15	32	11	11	40	135	90
800	4949-II R	490材	490材	TYPE II	19以上	M16	30	35	15	32	11	11	40	135	90
900	4949-III R	490材	490材	TYPE III	19以上	M16	36	35	15	32	11	11	40	135	90
1000	4949-III R	490材	490材	TYPE III	19以上	M16	42	35	15	32	11	11	40	135	90

注1：継手の性能は、杭に作用する軸力の範囲内において、杭本体の性能を上回っていること。
 注2：ボルト数は、継手1ヶ所あたり(上下の杭)の合計です。
 注3：異なる杭種を接続する場合の継手は、曲げ耐力およびせん断耐力の小さい杭の仕様とします。
 注4：継手種類(呼び名)のTYPEに「R」がついているものは、補強バンドに丸鋼を設置することを示します。

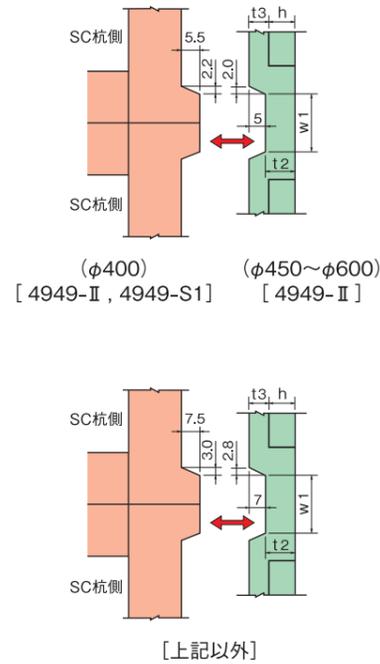
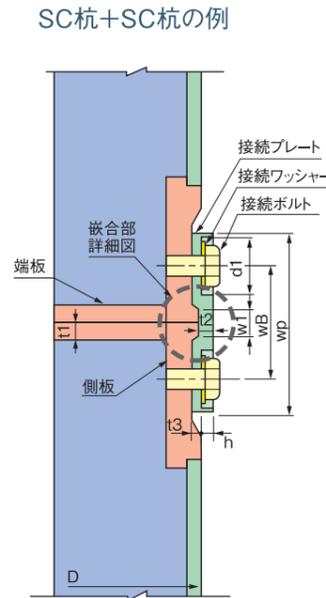
■ PRC杭(肉厚仕様:標準型、厚型、特厚型)標準仕様

杭径 (継手部) D (mm)	継手 種類 (呼び名)	側板 材質	接 続 プ レ ー ト 材 質	形 状	端板 厚さ t1 (mm)	接続ボルト			接続プレート					接続 ボルト 間 隔 wB (mm)	
						呼び	本数 n (本)	長さ ℓ (mm)	嵌合部		座ぐり部				幅 wp (mm)
									厚さ t2 (mm)	幅 w1 (mm)	深さ h (mm)	厚さ t3 (mm)	径 d1 (mm)		
300	4949-I	490材	490材	TYPE I	16以上	M12	12	25	9	18	7	7	32	110	65
350	4949-II	490材	490材	TYPE II	16以上	M12	18	25	9	18	7	7	32	110	65
400	4949-II	490材	490材	TYPE II	16以上	M12	18	25	9	18	7	7	32	110	65
450	4949-II	490材	490材	TYPE II	19以上	M14	18	30	12	26	9	8	35	110	70
500	4949-II	490材	490材	TYPE II	19以上	M14	18	30	12	26	9	8	35	110	70
600	4949-II	490材	490材	TYPE II	19以上	M14	24	30	12	26	9	8	35	110	70
700	4949-II R	490材	490材	TYPE II	19以上	M16	24	35	15	32	11	11	40	135	90
800	4949-II R	490材	490材	TYPE II	19以上	M16	30	35	15	32	11	11	40	135	90
900	4949-III R	490材	490材	TYPE III	19以上	M16	36	35	15	32	11	11	40	135	90
1000	4949-III R	490材	490材	TYPE III	19以上	M16	42	35	15	32	11	11	40	135	90
1100	4949-III R	490材	490材	TYPE III	22以上	M16	54	35	15	32	11	11	40	135	90
1200	4949-III R	490材	490材	TYPE III	22以上	M16	60	35	15	32	11	11	40	135	90

注1：継手の性能は、杭に作用する軸力の範囲内において、杭本体の性能を上回っていること。
 注2：ボルト数は、継手1ヶ所あたり(上下の杭)の合計です。
 注3：異なる杭種を接続する場合の継手は、曲げ耐力およびせん断耐力の小さい杭の仕様とします。
 注4：継手種類(呼び名)のTYPEに「R」がついているものは、補強バンドに丸鋼を設置することを示します。
 注5：表中の端板厚さは肉厚仕様標準型仕様です。

標準構造図 [SC杭仕様]

嵌合部詳細図



SC杭標準仕様

● SC(400材、490材)

杭径 (継手部) D (mm)	継手 種類 (呼び名)	側板 材質	接 続 プレート 材 質	形 状	端板 厚さ t1 (mm)	接続ボルト			接続プレート					接続 ボルト 間隔 WB (mm)	
						呼び	本数 n (本)	長さ ℓ (mm)	嵌合部		座ぐり部				幅 wp (mm)
									厚さ t2 (mm)	幅 w1 (mm)	深さ h (mm)	厚さ t3 (mm)	径 d1 (mm)		
400	4949-II	490材	490材	TYPE II	9以上	M12	18	25	9	18	7	7	32	110	65
	4949-S1	490材	490材	TYPE-S1	9以上	M14	18	30	12	26	9	8	35	110	70
450	4949-II	490材	490材	TYPE II	9以上	M14	18	30	12	26	9	8	35	110	70
	4949-S2	490材	490材	TYPE-S2	9以上	M16	24	35	15	32	11	11	40	135	90
500	4949-II	490材	490材	TYPE II	9以上	M14	18	30	12	26	9	8	35	110	70
	4949-S3	490材	490材	TYPE-S3	9以上	M16	30	35	15	32	11	11	40	135	90
600	4949-II	490材	490材	TYPE II	9以上	M14	24	30	12	26	9	8	35	110	70
	4949-S3	490材	490材	TYPE-S3	9以上	M16	36	35	15	32	11	11	40	135	90
700	4949-II	490材	490材	TYPE II	9以上	M16	24	35	15	32	11	11	40	135	90
	4949-S2	490材	490材	TYPE-S2	9以上	M16	36	35	15	32	11	11	40	135	90
800	4949-II	490材	490材	TYPE II	9以上	M16	30	35	15	32	11	11	40	135	90
	4949-S2	490材	490材	TYPE-S2	9以上	M16	42	35	15	32	11	11	40	135	90
900	4949-III	490材	490材	TYPE III	9以上	M16	36	35	15	32	11	11	40	135	90
	4949-S2	490材	490材	TYPE-S2	9以上	M16	48	35	15	32	11	11	40	135	90
1000	4949-III	490材	490材	TYPE III	9以上	M16	42	35	15	32	11	11	40	135	90
	4949-S2	490材	490材	TYPE-S2	9以上	M16	60	35	15	32	11	11	40	135	90
1100	4949-III	490材	490材	TYPE III	9以上	M16	54	35	15	32	11	11	40	135	90
	4949-III	490材	490材	TYPE III	9以上	M16	60	35	15	32	11	11	40	135	90

注1：継手の性能は、杭に作用する軸力の範囲内において、杭本体の性能を上回っていること。

注2：ボルト数は、継手1ヶ所あたり(上下の杭)の合計です。

注3：異なる杭種を接続する場合の継手は、曲げ耐力およびせん断耐力の小さい杭の仕様とします。

注 意 事 項

⚠️ 〈ご注意とお願い〉

- T·PJOINTを用いて建築物の基礎を設計するにあたっては、本カタログを参考にするとともに、建築基準法や、関係法規、指針、基準等を遵守して、適正な設計をしていただきますようお願い申し上げます。
 - 施工要領や、管理基準については、詳しく記載しておりません。工事関係につきましては、「T·PJOINT施工要領書」をご覧くださいようお願い申し上げます。
 - 製品・工法の改良のため、または製品仕様、施工機械の仕様等は予告なく変更することがありますので予めご了承ください。
 - 地域により地盤、土質性状が異なり、各製品、工法での施工性能が均等に発揮できない場合があることをご了承ください。
 - 本カタログについての詳細は、当社まで直接お問合せください。
- ※本カタログ掲載の製品・工法に関して問題が発生した場合には、下記の免責事項をふまえた上で、当社にて対応させていただきますので、お願い申し上げます。

⚠️ 〈免責事項〉

- 本カタログに掲載された事項に反した設計、施工により問題が発生した場合。
- 基準仕様以外に使用者の指示した仕様、施工方法等により問題が発生した場合。
- 標準仕様以外の使用者から支給された材料、部品により問題が発生した場合。
- あらかじめ定めた用途、部位以外に使用し、それにより問題が発生した場合。
- 使用者もしくは第三者の故意、または過失により問題が発生した場合。
- 引渡し後、建物の構造、性能、仕様等の改変を行い、これにより問題が発生した場合。
- 瑕疵(カシ)を発見後、すみやかに届けがなされず、これにより問題が発生した場合。
- 構造物の変形、老朽化、外部からの衝突等、製品以外の外的要因により問題が発生した場合。
- 開発、製造、販売、施工時に通常予想される環境(温度、湿度、水位、地盤状況、その他)等の条件以外における使用に起因する問題が発生した場合。
- 設計時に想定された以上の不可抗力(天災、地震、地盤沈下、火災、爆発など)が原因となり問題が発生した場合。